

「京都魔界巡礼団」同行企画

# 魔界ってほん魔界!?

第16界

京の魔界を巡らし、そのナゾに迫る「京都魔界巡礼団」。そのオカルト・古代史マニア集団が「京都チャンネル」に乗り込み魔界紀行番組を作ったと聞いて、奇々怪々興味津々と参加志願をした本誌編集部員達。さて魔界の真の姿とは…



中山団長

南副団長

## 「京都魔界巡礼団」

■レギュラー団員■

小嶋伸一 (ディレクター)・佐々木昇 (アシスタントディレクター)  
丘真奈美 (放送作家・超古代史ジャーナリスト)・加納謙 (京都の史跡を訪ねる会会長)

### 日向レイラインが入る御所の門



清和院御門



京都魔界巡礼団団長  
中山市長

東山日御山から伊勢神宮の「気脈」を御所へ入れるためにつくられた日向レイライン。地図上の計測でレイラインは御苑東側の3つの門のうち真ん中の清和院御門から入っていく事が分かった。早速、御所・清和院御門へ向かった巡礼団。門前に行くと、「怪しい顔ぶれ」がそろそろいたのせいか皇室警察のバトカーがすぐ来た！が、すぐ去った。魔界顔の中山団長を何かの教祖と間違えたのだろうか。でもカメラがあったのでテレビだと分かるかと安心したのか…

### 御所清和門付近を探索!



法成寺跡碑

清和院御門は京都御苑東側の真ん中の門で、門前というと…北側に「美味い名水」を汲みに来る人が絶えない「染井」がある製木神社。東北向かいに『源氏物語』の著者・紫式部の邸宅跡と伝えられる廣山寺。その南には藤原道長の邸宅と彼が建立した大徳院・法成寺跡。法成寺では平安の昔、道長を呪う「呪物」が埋められているのを大陰陽師・安倍晴明サマが発見。犯人は晴明のライバル・芦屋道満という事件があった。

### 京都御所に仕掛けられた陰陽道の技



レイラインが通過する乾御門



超古代史ジャーナリスト・丘真奈美  
京都魔界巡礼団団員

京都御苑に入ったレイラインは御苑の北部に位置する「京都御所」の真ん中を通過して乾御門へ至っている。京都御所内には紫宸殿・清凉殿・常盤殿などがあり、場所は違えどもかつての平安京内裏を偲ぶ事が出来る。やはりここには陰陽道的仕掛けがあった！東北角、鬼門には「鬼門除け」として角が切り取られた妙な格好をしており上部に金網に囲まれた猿像がある。この猿は夜中うろつくので網がかかっているという。日吉大社の神猿は鬼門守護の靈獣として古から魔を封じてきた。因みにこの場所は「猿ヶ辻」といい、幕末に攘夷派公卿が暗殺された魔所になった。

【魔界TVシリーズ再放送予定の問い合わせ先】

京都チャンネル (スカイパーフェクトTV ch726)  
http://www.kyotochannel.com/ 075-253-0609 (FAX)

# おちよぼ

It's a world ver.

アカデミック・シティ京都に遊ぶ偉大なミニマム博物館を標榜した京都チャンネル「It's Small World」を、京都CF!が徹底検証する知的教育コーナー!



## 京都祇園らんぷ美術館



1800年代後半に製造されたと思われるフランス製の吊りらんぷの大きさは任意。「ホテルのロビーなどに使われたのではいか」と館長は複製

昔の上に覆った時の視野を知らず座敷らんぷの数を、竹やケヤキなどを使うのは日本人独自のセンスであり、日本軍艦にもほどよくマッチした



いつの世も小型軽量を喜ぶ日本人に重宝された豆らんぷ。手作りゆめのびつさが温もりを感じさせる



ヨーロッパのガラス技術を獲得した日本人が造ったインテリアらんぷは、深い歴史や和の文様が美しい、現代でも通用する美的感覚だ

## 文明開化のシンボルだった石油らんぷの太く短い歴史

スイッチ一つで簡単に光を手に入れることができる電気文明全盛の現代。便利な発明と引き換えに過去の遺物となった道具は数知れないが、この美術館に収められている石油らんぷもその一つ。人類の灯り史上、石油らんぷが使われたのは、電気が普及するまでの約50年間というわずかな期間だったとはいえ、菜種や鯨油よりもはるかに明るい光を家庭にもたらした画期的な照明具だったのだ。古美術商を営む生家で育った難波館長は、らんぷの形やデザイン、ガラスの変幻性に惹かれて10代の頃から収集を始め、'91年に美術館をオープン。收藏品1000点の中から厳選した600点を展示している。2階の展示室には江戸末期に日本に伝わったらんぷを日本人のライフスタイルに合わせてアレンジした座敷らんぷや、幻灯映写用らんぷ、ぜんまい仕掛けの時計らんぷなどの国内外のらんぷが所狭しと並び、3階には手元灯用の豆らんぷや、ガラス技術の進歩が生んだデザイン性の高いの台らんぷなどをすっきりと展示中。灯り文化の過渡期を担った石油らんぷが、日本中、世界中を照らした時代に思いを馳せて館内を巡りたい。

●京都祇園らんぷ美術館  
きょうとぎょらんぷびじゅつかん

■京都市東山区祇園町南側540-1  
075-525-3812  
10:30~17:30 / 休休  
(展示品入れ替えのための臨時休業あり)



難波美術道具店に隣接する美術館入口。入館料は大人500円、中学生300円

## 太夫とは? 第十幕「吉野太夫」編

「正五位」の別荘で、歌舞音曲の他、茶・香・歌など公家や武家の奥方同様の知識を持った芸技に与えられた妓女の最高官位のこと。現在は6花街のうち京都・嵯峨のみに4人現存し、司太夫はその内のお一方。中学卒業後京都府立で舞妓となり、6年経過後その後太夫への道に進む。若手他、日本画・写真・手話も勉強し、フリーペーパー「こたない新聞」の発行やイベント企画など活動の場は広い。

常照寺に咲く  
百花生乱  
吉野太夫供養

鳴原司の  
こたない  
花語



Tsukasa



吉野太夫花供養は、毎年4月3日曜日に催され今年も4月18日、太夫道中、舞等、野点、ソバナなどが、静かな境内が1日中賑わう。常照寺山内は有料。

司事務所  
075-594-0568  
http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21

注1: ちょうど現在の堀川五条あたり